

保健師

Q1 どうして桐生市の職員になるうと思われましたか？

3年間助産師として臨床経験を積み、妊婦や出産直後の母子と関わる中で、退院後の地域の支援はどのように行われているのか興味を持ちました。そんな中、桐生市のHPなどで目にした「妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援」という言葉に感銘を受け、自分の経験を活かし少しでも力になりたいと思いました。

Q2 現在の業務内容は？

健康づくり課で母子保健業務を担当しています。主に新生児・乳児訪問や乳幼児健診・教室を行っています。また、平成28年度に開設された子育て世代包括支援センターの担当として、子育て相談係や子育て支援センターと連携をとりながら切れ目なく支援を行えるよう取り組んでいます。

Q3 仕事にやりがいを感じる瞬間は？

やはり、地域の方からの感謝の言葉だと思います。地域の方と関わるにあたり一番大切なことは信頼関係だと感じます。最初は心を開いてくれなかった母親が関わっていくうちに本音を話してくれたり、「ありがとう」「話してよかった」などの言葉をいただくと、うれしく思いやりがいを感じます。



Q4 受験生へエールを！

桐生市は自然豊かで歴史的な建造物が多く、とても素敵なまちです。桐生に暮らす人々の生活をより良いものにするために、一緒に仕事をできる日を楽しみにしています。



保健福祉部
健康づくり課
星野 彩奈

平成29年4月採用

保育士

Q1 どうして桐生市の職員になるうと思われましたか？

桐生市の公立保育園の、自然を活かしてよく遊ぶ、のびのびとした保育内容に魅力を感じました。また、自分が生まれ育った桐生市に貢献したいと思い、桐生市職員を目指しました。

Q2 現在の業務内容は？

四季折々の豊かな自然に囲まれた、桐生市立黒保根保育園で保育士として働いています。子どもの心身の成長を支えるため、毎日一人一人の子に寄り添い、たくさん話しをするなど、笑顔で向き合っています。

Q3 仕事にやりがいを感じる瞬間は？

子どもたちは毎日成長しています。笑顔で名前を呼んでくれたり、新しいことが出来るようになっていく姿を見られたときにとってもやりがいを感じます。保育は、楽しいことばかりではなく、悩んだり考えたりすることも多いですが、子どもたちの成長を間近で見られたときに喜びを感じます。



◀
子ども一人一人
と笑顔で

Q4 受験生へエールを！

桐生市の職員は、優しくあたたかい人たちばかりで、とても楽しい職場です。一緒に桐生を盛り上げ、そして、よりよいまちを目指していきましょう。一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



保健福祉部
黒保根保育園
星野 佑実

平成29年4月採用